

---

# NYUANSU

久住 なつき

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

NYUAN SU

### 【Nコード】

N3181S

### 【作者名】

久住 なつき

### 【あらすじ】

女友達が気になる彼に勝手に探りを入れてくれたのだけれど。  
「そしたら『知ってるよ。あの可愛い子でしょ』だって。」

「相馬があんたのこと可愛いって言ってたらしいよ」

「え、嘘だー。てか相馬君あたしのこと知ってんの？」

「あんたが相馬のこと見た目ちょっとかっこ良いって言ってたから別の男の子通して聞いてみたんだ。

そしたら『知ってるよ。あの可愛い子でしょ。』って言ってたんだって」

「知ってるよ。あの可愛い子でしょ」を相馬君で脳内再生。意味を噛み砕く。うん、キュンときた。

女友達の一言で「ちょっと良いかもー」の相馬君が急上昇。見た目や雰囲気がどんなに理想的であろうと

自分に全く好意が無い人を恋愛の相手として意識しない。逆もしかり。

そう。女友達の一言が決め手だった。

このまま自分からアタックしてほしいほいぼんで二人は幸せに。

なんて浅はかでした。

告白して振られて、ずっと胸が冷えていく。

どこが好きなんだっけ。何で好きになったんだけ。好きだったっけ？自分で良いと思った相手のはずなのに

どうせ振られるならもっとかっこいい人、いや本当に好きな人に振られたかった。

なんて浅はかだけと思ってしまったんだ。

相馬が私を可愛いって言ったのは本当かもしれないけど  
きつともっと台詞もニュアンスも違ったんだ。

言葉は「可愛い」でも「可もなく不可もなく」に近かったんだと思う。

（ああ、ここに恋愛初心者がいる）

自分に苦笑いするしかない。

皆さま人伝いのニュアンスにご注意を。

正しくは恋の暴走にご注意を。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3181s/>

---

NYUANSU

2011年10月3日01時32分発行